



## 水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



12月16日

(一財) 中部公衆医学研究所  
(認定番号：JWWA-GLP0100)

## 第50回国際委員会（12月19日）

任期満了に伴う委員の変更があったため、はじめに正・副委員長との互選を行い、引き続き委員長には大阪市水道局の宮内理事を、副委員長には東北学院大学の石橋教授を選任した。

審議事項「平成26年度国際研修計画（案）」について了承を得た後、報告事項として「2018年 IWA 世界会議・展示会の東京開催について」、「IWA 上下水道経営に関する地域会議概要報告」、「平成25年度インドネシア水道事業報告」ほか、前回委員会以降の国際活動に関する報告を行った。

## 第4回井戸等の管理技術マニュアル改訂専門委員会（12月19日）

本委員会では、井戸等の管理技術マニュアル、井戸の改修及び更新の事例集について改訂作業を進めている。今回の委員会では、井戸に係る工事事例等のアンケート調査の現況報告、設計事例の掲載について事務局から報告を行った後、マニュアル改訂作業を実施した。

## 第83回水道 GLP 認定委員会（12月24日）

水道 GLP 認定について、(一財) 石川県予防医学協会（申請番号：JWWA-GLP099）、埼玉県水質管理センター（申請番号：JWWA-GLP101）が新規に審議され決定された。また、認定更新検査機関として大阪市水道局（認定番号：JWWA-GLP001、12月26日付）が、認定維持検査機関として（株）東洋電化テクノリサーチ（認定番号：JWWA-GLP077）が、更新後

の認定維持検査機関として（公財）鳥根県環境保健公社（認定番号：JWWA-GLP036）がそれぞれ審議され決定された。

#### 第924回会誌編集委員会（12月25日）

本誌1月号、2月号、3月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

#### 配管設計講習会（北海道会場：1月8日～10日）

水道事業体職員及び設計業者の方々31名の参加を得て、「配管設計のあらまし」、「設計・積算の実務知識」、「製図の基本」、「管路の製図演習」、「管路の積算演習」について研修を実施した。

#### 第7回耐震技術検討専門委員会（1月8日）

「耐震設計事例集（仮称）」、「耐震設計の手引き書（仮称）」の内容について審議検討を行った。いずれも、平成25年度内を目途に取りまとめることで検討を継続することとなった。

#### 第680回抄録委員会（1月10日）

本誌4月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。